



なんぶ

議会だより

第57号

平成30年12月議会
発行/平成31年2月



今年の無事故を願い
消防出初め式

- 新年ごあいさつ2
- 12月議会報告3
- 一般質問ダイジェスト7

- 議員活動日誌13
- 二十歳の誓い14
- あとがき14

12月議会報告

平成30年12月定例議会は7日から19日まで(会期13日間)開催され、教育委員の任命、3件の条例の一部改正、14件の公の施設の指定管理者の指定、一般会計他5件の補正予算、町道認定及び町道路線変更についてそれぞれ議案の審議を行いました。その結果、すべての議案が可決承認されました。

補正予算

前年度(平成29年度分)補助金確定による過年度償還金の計上、社会資本総合交付金(道路交付金)の配分枠による道路改良事業等の再調整、巡回歯科診療のための車両購入費負担金(西伯病院へ)、台風24号及び9月豪雨災害により被災した農地災害復旧費の計上など4億6,961万9千円の増額補正予算で総額77億805万円とする

主な事業

災害復旧費事業

…4億8,680万円増額
(計5億8,626万2千円)

台風24号及び9月豪雨により被災した農地等の災害復旧費の見込み額



歯科保健事業

…353万2千円増額
(計353万2千円)

西伯病院が巡回歯科診療用の車両を購入するため町の施策として車両費を負担する見込み額



汗かく農業者支援事業

…70万円増額(計94万2千円)

小規模農業者の所得向上
鳥取県農業者の育成を図る申請者数の増加見込みによる予算増額



オートキャンプ場施設管理事業

…142万6千円増額(計777万8千円)

指定管理者を公募するために、キャンプ場の備品であるテントが古くなったために更新する



討論

反対

法勝寺高校跡地の町有地を、479万1千円で売却する財産売却収入予算が計上されている。町は、上物を撤去するの経費をかけて更地になっている。当然その経費は、売却予算に上乗せするべきだ。災害復旧事業の受益者負担金が、高すぎる。分割払いなど分担金の徴収方法を負担のかからないようにすべきで反対だ。

賛成

今回の補正予算は、大部分が災害復旧関係の予算であり賛成するものだ。受益者負担である分担金の割合は、町が決めているもので、その災害の都度で変わるものではないが、負担軽減は必要だ。公有財産を売却する場合、不動産鑑定士が、鑑定し、単価を決定しているの、適正なものだと思うので賛成だ。

賛成者多数で可決

会計名/議員名 (議席番号順)	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三嶋	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度一般会計補正予算採決結果	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×



副議長
井田 章 雄

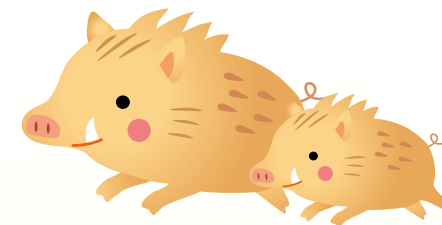


議 長
秦 伊 知 郎



新年
ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をご健勝にてお迎えになられたことを、心よりお慶び申し上げます。さて、穏やかな景気回復が続いていると言われていますが、地方においてはまだ厳しい経済状況が続く、また緊迫した国際情勢など国内外に多くの課題を抱えています。また、多くの町村に見られるような急激な人口減少と高齢化、過疎化には地域の活力をなくしてしまいます。南部町においても人口減少、過疎化への対策と同時に農林業、商工業の振興にどう対応していくのか、行政と議会にとって大きな課題であると考えます。地域の活力が求められている中、今春、手間地区にも住民間の交流拠点施設がオープンします。地域に活力と賑わいが生まれ育つと大きな期待がなされています。さて、昨年も「住民の声をきく会」を開催させていただきました。いただいた皆様からの意見は議会活動に反映すべく努力してまいります。そして町政発展のため、「行政の監視」と「政策の最終決定」に全力で取り組んでいきます。これからの議会活動にあたり、町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。



12月議会議案審議結果

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
公の施設の指定管理の指定（農林体験実習館）	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（ふれあい広場緑水湖オートキャンプ場）	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（高齢者自立訓練センター）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（介護予防拠点施設）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（ふるさと交流センター）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（おおくに田園スクエア）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（おおくに農山村広場）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（おおくにコミュニティ運動施設）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（地域農産物加工施設えぶろん）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（自然休養村管理センター緑水園）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（林業者等休養福祉施設）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（健康増進施設レークサイドアリーナ）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（緑水湖教育文化施設）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
公の施設の指定管理の指定（バンガロー）	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

陳情

陳情3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について

提出者／鳥取県教職員組合西部支部 支部長 西田 周郎
鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 藤波 敦夫

全員一致で採択

南部町教育委員会委員の任命
井上 憲司さん（中） 再任

任期 平成30年12月8日から平成34年12月7日までの4年間

全員一致で可決

南部町職員の給与に関する条例の一部改正

国の一般職の給与法改正を準用し、給料額、勤勉手当の支給率を改定するため勤勉手当 現行0.9⇒0.95(12月支給のみ再任用職員は現行0.425⇒0.475)

全員一致で可決

南部町税条例の一部改正

特定非営利法人 十人十色を寄附金税額控除の対象に指定するための条例改正。
なお、県は6月議会で条例可決し平成30年7月10日付けで交付済み。

全員一致で可決

南部町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

地域再生法の改正に伴う改正
○東京23区から本社機能の移転型・拡充型事業の適用期限が2年間延長となったことに対応する改正。
「現行」H30.3.31まで⇒「改正後」H32.3.31まで
○移転型事業に不均一課税に加えて課税免除が追加されたため、本町は課税免除の扱いに拡充する。

全員一致で可決

町道認定及び町道路線の変更

町道東西町スポーツ広場線(延長160.0m 幅員3.6m)
武信下線（延長を240.0mのばして410.9mに変更、幅員3.0～4.2m）

全員一致で可決

公の施設の指定管理者の指定について

今議会で14件の公の施設の指定管理者の指定についての議案が提出され、予算決算常任委員会で審議を行いました。この採決にあたって、予算決算常任委員会委員長から、執行部に対して、「今回の提案は、指定管理者の選定過程の資料もなく、指定管理料も未確定という中で、議会として適切であるという判断が非常に難しい提案方法でした。今後は、相手側と指定管理料も確定した後、予算の債務負担行為をつけて提案するよう、また指定管理料の算定基礎や様式も統一して説明するよう」意見を付されました。

賛成

反対

討論

指定管理者の提案の仕方に反対だ。公の施設なので指定管理に出さず、町が直接運営するべきだ。指名指定から公募にするという町の政策の变换の説明が不足だ。

指定管理者の指定は、公募による方法が、原則であり、事業計画が適正であるか審査するものだ。12月議会で指定管理者を決定しなければ、3月議会では、準備期間が短くて4月1日からの事業開始に間に合わない。

議員名	発言時間	質問事項
1 長束博信	28	1 総合計画
		2 子育て支援
		3 中小企業支援
2 滝山克己	25	1 防災関係
		2 ミトロキリサイクルセンターの利活用
3 白川立真	20	1 福祉除雪サービス
4 三鴨義文	30	1 林業振興
		2 地域振興協議会の現状
5 板井 隆	30	1 南さいはく自然休養村
6 荊尾芳之	30	1 農山漁村振興交付金事業
		2 防災
7 加藤 学	30	1 円山団地の側溝整備
		2 期日前投票所の設置
		3 産業廃棄物処分場
8 仲田司朗	25	1 母塚山の観光整備
		2 大学連携事業
9 細田元教	30	1 今後のビジョン
		2 地域共生社会
10 景山 浩	30	1 小規模企業振興対策
		2 若者の町外への流出対策
11 真壁容子	30	1 町民のくらしの実態把握と貧困対策
		2 国民健康保険税の引き下げ
		3 町地域再生計画(生涯活躍のまち推進プロジェクト)
12 亀尾共三	30	1 消費税率10%引き上げの町への影響
		2 産業廃棄物最終処分場
		3 子そだて支援の拡充



あなたの声を
町政に問う！

【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

町長 ①第2次総合計画は向こう10年先までを見据えて計画し、目指す町の姿を、人と自然が響き合い、ともにつくる「なんぶ暮らし」と定め、共生・協働・環境を基本理念に策定する。町長

長束 ①合併後の総合計画から14年が経過した。次期総合計画は何年を想定し、どのような南部町の姿を目指すのか、また人の尊厳が守られ人が大切にされる人権の位置づけについてどうか。

②子供を生み育てる特色ある子育て支援環境はどうすべきか、また小学生の放課後居場所づくり構想（高齢者を含めたもの）はあるのか伺う。

③中小企業支援で、町の商工業が活気づく仕掛けづくり構想はあるか、また特産品などのPR方法で従来方法に絡めた新たな考えはあるか伺う。



②基本的には子育て支援事業計画を策定しているが、不安や悩みを気軽に相談できる現在の体制を維持し、真に必要な支援環境の確保を目指していく。高齢者を含めた異年代交流促進の観点からは同感で、子供たちの充実した居場所づくりは今後の検討課題だ。

③南部町商工会が進める重点事業支援の取り組みに町として協力と後押しをしていく。仕掛けは横断的な声掛けで色んなジャンルの若者たちの会合や交流を深める計画を考えている。PRは商工会で西部ブランディング事業で行っており、大山時間と銘打ったブランド化を図り情報発信と個別相談をしている。

総合計画

Q 合併から14年経過、次の総合計画は

A 共生・協働・環境を基本理念に策定する 町長

陳情

陳情4号 沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認 撤回の意思」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情

提出者／沖縄と連帯するとつとりの会
共同代表 石田 正義、一盛 真、伊藤 英司

賛成少数不採択

賛成 地方自治法上問題である。一自治体が決定したことに国が、それはおかしいと言っている。法律に反している。大変危険だ。国が強行する、自治体の考えなど無視するやり方に反対だ、国に意見書を提出するべき。

反対 世界一危険な飛行場といわれる普天間の飛行場をまずは、返還して、住民の危険を回避することは重要だ。その代替の基地として辺野古があがってきている。まずは、安全性を求めるべき。

討論

陳情名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意思」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○

発議案

案件	提出者	可否
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充にかかる意見書	南部町議会 民生教育常任委員長 長束 博信	採 択
消費税の増税の中止を求める意見書	南部町議会議員 亀尾 共三	不採択
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書	南部町議会議員 加藤 学	不採択
待機児童、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書	南部町議会 議会運営委員長 景山 浩	採 択

発議案／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充にかかる意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税の増税の中止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
待機児童、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

防災関係

滝山克己 議員

Q

ハザードマップの内容と被災後の対応

A

内容は刷新し河川については県が改修予定 町長



滝山

ハザードマップに示されている浸水深とはどの地点がどのような状態となった時なのか。降雨量244mmの計測方法の考えは。またこの量は2日間の平均雨量5mm程度で達する降雨量である。今後の河川改修や維持管理について、全部の撤去は出来ないまでも流下水を阻害するたい積土砂や立木だけでも撤去されるよう強く要望していただきたい。

東長田地区では県道が冠水した場所が数か所あったが今後の対応はどうか問う。

備蓄倉庫の備蓄品の内容と量、放出の基準はどうか問う。

町長

ハザードマップは法勝寺川の左岸で35か所、右岸では48か所の破堤を想定しており、この全てが破堤した状態を見込み、その時の最大水深を表示したものである。堤防の低い

福祉除雪サービス

白川立真 議員

Q

除雪など多様な支援体制の確立を

A

複層的に支え合うシステムが重要 町長



白川

高齢者世帯では、特有の問題を抱えているケースがある。「雪かき」もその一つで、近年の豪雪は、高齢者などを孤立させる災害と認識している。

一定以上の降雪の際、社協や他の団体と協力して、高齢者世帯などを対象にしたボランティア支援体制ができないか問う。

また、人と人、人と組織、組織と組織を繋ぎながら、見守りなど多様な活動ができる支援チームが必要と考えている。

今、私は先進的な取り組みを行っている日野ボランティアネットワークで研修をしており、20年後を見据え、町長もこの課題を研究してもらい、より良い支援体制を作り上げたいと思うかどうか。

町長

残念ながら、本町ではまだそうした取り組みには



至っていない。
地域包括ケア体制を充実させていきながら、お互いが身の回りの困りごとに気づき、助け合うという機運の醸成に努めていく。また、区長さんを支えながら行政や福祉またはボランティアとの「つなぎ役」というものが必要になる。行政職員がサポート役に回る時期が来たと思っている。さらに、ボランティアでつなぐということも大事だ。
様々な組織が生まれ、地域がもっと複層的に支え合うシステムができる事がセーフティネットをつくる源泉だと思う。私もしっかり勉強していきたい。

一般質問

町長

重要里地里山の指定は全国で500ヶ所が選定さ



三鴨

このたび本町全域が環境省の重要里地里山の指定を受けたところである。

この選定理由は、農林業を通じた農村環境の保全が全町的になされている事となっている。この優れた景観をしっかりと次世代に継承することが、今いる私たちの責務と考える。指定を受けた景観の保全と活用、産業としての林業振興を町としての様に考えるのか伺いたい。

また、山林の維持管理は土砂災害防止にも大きく関わる重要な課題である。町の管理する林道も、7月の台風災害で2億2千万もの災害復旧費用が計上されているが、今後の維持管理についてどう考えるのか併せて伺いたい。

Q

山林の維持管理は

A

森林環境譲与税を財源とした事業で

町長

林業振興

三鴨義文 議員

れたが、町全域が指定されたのは非常にまれであることから、町としても関係団体と連携しながら指定を活用したPRをしていきたい。

町の75%を占める山林のうち人工林は来年度から森林環境譲与税を財源とした事業を進めていく。広葉樹や雑木林などは薪、炭、シイタケの原木など山林資源の活用と山に入る仕掛けづくりが大切であり、山林の維持管理につながるものと考えている。

町が維持管理している基幹林道は、林産物の搬出と山林の維持管理のために県につくって頂いたもので、大きな財産だと思っている。今後の林道の維持管理については、森林施業計画や森林整備の方向性を検討しながら判断したい。



Q

一般指定管理について

A

施設のサービス向上を期待する

町長

南さいはく自然休養村

板井 隆 議員



板井

賀祥ダム周辺の南さいはく自然休養村施設のうち、これまで(株)緑水園が指定管理を受けていた「こもれび工房」と「オートキャンプ場」が民間による一般指定管理方式の提案がなされている案件について伺う。

①民間による指定管理に変更した理由と、地域住民への説明について。
②新しい管理者に何を期待しているのか。
③指定管理公募に(株)緑水園が公募していない経緯について。
④町がすべて出資した、(株)緑水園の今後の展望について

町長 初めに、指定管理制度は、民間活力の導入により効率的な運営をおこない、自治体の財政負担の軽減や施設利用のサービス向上を期待して運用するものです。



集うイベント行事の場としても重要な施設機能を持っている。町内外の負託にこたえる使命があると考えている。

①二施設の指定管理者募集にあたっては利用者増進には一般指定管理方式が有効でないかと、(株)緑水園とも協議した。
地域住民、南さいはく地域振興協議会への説明不足はあったと思う。
②SNS等の通信技術の活用や体験工房を利用した食育、婚活イベントの新たな試みの提案がなされており、利用者増進を期待している。
③(株)緑水園にも公募について協議した。結果的には(株)緑水園の経営判断があったと思う。
④町民ほか生活を支える拠点機能は重要である。郵便局をはじめ食事の提供や宿泊、法事などの家族行事の場として、地域の

農山漁村振興交付金事業

荊尾芳之議員

Q 農泊推進協議会の役割とは

A 運営の連携調整や方針決定の場

町長



荊尾 農山漁村振興交付金事業について、南部町に観光客を宿泊させるとして、何人が受け入れ可能か。南部町内に民宿（住宅宿泊事業）の県への登録は、何件あるか。また、町内に緑水園等の施設で、現在、何人の宿泊が可能か。今後、事業実施後の見込み数はどうか。次に、事業推進のために農泊推進協議会の設置が必須とある。この位置づけと役割は何か。ランナーズビレッジとは何か。今後、ハード事業にも取り組む考えはあるか何う。

町長 現在町内で、住宅宿泊事業法、いわゆる民泊新法に基づき民泊サービスを提供されている方が1名、他に3名の方が現在申請に向けて準備中である。また、現在宿泊可能な施設としては、緑水園と虹の村バンガローが

ある。民泊施設1件、「えん処米や」などがあり宿泊可能人数は164人だが、事業実施後には36人増えて200人が可能となる。

農泊推進協議会の位置づけと役割としては、食、泊、体験メニューの提供事業者と全体の運営をコーディネートする者の連携調整や方針決定の場になる。ランナーズビレッジを実施する上での組み立てとしては、マーケティング分析によりターゲットを絞り、南部町ならではのランニングコースや食、泊、体験メニューの開発や磨き上げを行い、これらの特設ウェブサイトに集約掲載し、SNS等を活用したプロモーションを行う。このことにより町内に人を呼び込み、交流人口の拡大や地域経済への波及を狙う。

ハード事業については今後のプロジェクトを進める中で検討したい。目線の一つに緑水園の改修も考えられる。

期日前投票所の設置

加藤 学議員

Q 会見地区での期日前投票所の設置を求める

A 期日前投票は例外の制度 選挙管理委員会委員長



加藤 平成31年は鳥取県議会選挙と参議院議員選挙が予定されている。先輩議員を含め旧会見地区へ期日前投票所の設置を求めて来たが良い回答は得ていない。改めて、形式上の質問をする。

①期日前投票所の設置には予算がないのか。
②期日前投票所の運営をする人員を集める事が出来ないのか。
③現在、プラザ西伯だけに期日前投票所を設置しているが、南部町内ではそれで足りていると考えているのか。

④期日前投票所の設置期間が16日あるとして、前半を会見地区として、後半を西伯地区、交互に設置することは可能か。

委員長 ①②期日前投票所の設置の期間が16日と長い参議院議員通常選挙または鳥取

県知事選挙を想定して回答する。必要な人員は投票管理者1人、職務代理人1人、事務従事者2人、立会人2人。延べ101人の人員の確保が必要となり、人件費で約80万円が必要となり設備費はパソコンなどで約70万円が必要となり、合計約150万円の予算が必要である。

③場所の問題、経費の問題、人員の問題、安全の問題から会見地区へ期日前投票所を設置することは困難である。公職選挙法上、投票日当日投票主義が原則であり、期日前投票は例外として投票機会を確保する制度である。

事務局長 ④法律的には一つの期日前投票所は最初から投票日の前日まで通して設置しなければならない。もう一方の期日前投票所は期間の大小は関係なく設置は可能である。

母塚山の観光整備

仲田司朗議員

Q 町内で一番風光明媚な母塚山の観光整備は

A 里山環境を保全しながら整備をしていきたい 町長



仲田 母塚山は神話の山であると同時に、町内で一番風光明媚な場所に位置していて、近年朝早くから町外からも大山の日の出を見るためカメラで撮影する方が多く来ているが、台風などの影響で林道に多くの雨が降ると土砂崩れが発生してたびたび通行止めになる現状について何う。

①林道整備は。
②山頂周辺の景観形成は。
③定点カメラの設置は。
④今後の観光整備は。

町長 ①林道母塚山線は、母塚山の山頂付近へ通じる民有林道で、旧国道180号線からふるさと交流センターまでは町道、それから先は林道となっている。維持管理は、町で林道法面の立木伐採や路面補修などを行っている。豪雨のたびに大

小の崩落があり、通行止めをしている。林道母塚山線の再整備は現状では非常に困難である。
②母塚山展望台は、自然現象を織りなす景色を楽しめるスポットとして年々来訪者が増加傾向にあり、展望駐車場は全面アスファルト舗装を施し、転落防止のための柵の設置など安全面の配慮もしている。
③母塚山から見える大山は、壮大で絶景でインターネットやSNSでは、中国山地の山々から大山、島根半島から日本海までのパノラマの景色を楽しめるポイントとして紹介されている。今のところ、安価でできるライブ配信の仕組みなども調査して、今後検討する。
④母塚山の地形や自然を活用しまた、健康づくり、周辺の歴史を伝えるスポットとして活用したい。母塚山に来た人たちに町内の他の場所にも足を運んでいただくような、発信の仕方や、様々な体験をする体験型観光のイメージづくりができるよう検討を進めていきたい。

今後のビジョン

細田元教議員

Q 残り2年間の基本姿勢は

A 変化を恐れず挑戦する 町長



細田 陶山町長が誕生して、折り返し時期が目の前に来た。私の記憶では、百歳体操を各集落に順次広げているということ町長になられた2年間で実施している。

他の「生涯活躍のまち」拠点整備計画等は前坂本町長の残された仕事を引き継いだ。残されたあと2年で新しいことにチャレンジすることが必要と思うが、どう考えているか何う。

町長 町長就任以来、3年目に突入した。この間「つなぐ、変える、挑戦する」、これを政策理念とし、皆さんと話合ってきた。残された2年間もこの基本姿勢で行う。まず最初になんぶ創生への挑戦である。「生涯活躍のまち」拠点整備の実績で町内に多くの方が来られる仕掛けが出来たので、町内



の滞在時間を延ばす工夫やお金を使っていたく仕掛けがこれから必要だ。
任期中には、法勝寺高校跡地にJOCAのごちゃまぜ地域交流拠点施設の早期稼働や、南部町公民館、法勝寺分館の建て替え工事に着手する予定で住民の皆さんや関係機関と調整しながら、夢の語れる複合施設に取り組む。その他、子どもの問題、保育園の改築の検討を行っている。

Q 振興条例制定により総合的な支援策を

A まずは商工関係者の意見聴取を

町長



景山 少子高齢化や人口減少等の経済社会情勢の変化により、南部町内では地域内での経済活動の衰退、地域活力の低下が進行中である。

国では、この地域経済活動、特に地域の小規模企業や事業者支援のために、小規模企業振興基本法を制定し、小規模企業や事業者の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることをとした。

この小規模企業が大半を占める我が南部町でも小規模企業の振興に関する条例を制定し、国や県との施策の一貫性、継続性を確保し、小規模企業の振興を図ることが重要と考えるが町長の考えを問う。

町長 南部町の商工業者のうち約9割が小規模企業者に該当する。小規模企業者の皆さん

の行なわれる事業活動は、まさに地域に密着したものであり、地元

の需要に応え、また就業の機会を提供するなど、地域経済の安定と地域住民の生活を支える非常に大きな役割を担っていただいております。更には、町の特色を活かした新たな産業の創出など、町全体の活力の源泉となるものであると認識している。

一方、この小規模事業者数は、需要の減少や競争の激化、後継者の不在による廃業などでのこの10年間で261事業所から231事業所へと減少している。また、町の商工関係予算も%比較で県内市町村のうち3番目に低い割合となっているが、町内での起業を支援する起業促進奨励金に加え、本年度から企業創出奨励事業として新分野参入支援補助金の制度も創設し事業活動の活発化を支援している。

小規模企業振興に関する条例の制定については、まず商工会や関係団体の意見を聞くことから進めたいと考えている。

産業廃棄物最終処分場

亀尾共二議員

Q 協定書を変える必要性がある

A 現行の協定書で変えることはないと思う町長



亀尾 産業廃棄物最終処分場について問う。平成6年に交わした、協定書は10条から成っており、アスベストの事は書いていない。

建設廃材、金属くず、廃プラスチック・硝子くず、陶磁器くずの4品目となっている。

7月の全員協議会の提出資料には最終処分場の概要ということで、事業者の具体的な事業予定では、取り扱いの変更の中には現在アスベスト含有産業廃棄物を除くとなっているところを、アスベスト含有廃棄物を含むに変更し、今後は入れるようにしたいとのこと。

そうであれば、協定書を新しく交わすことが必要ではないか。また、当該処分場に関わる権利を第三者に譲渡しようとするときと、代表者を変更すると

きは、自治体のほうに提出するとなっているがどうか。

町長 アスベストには飛散性アスベストと非飛散性アスベストがある。今回事業者が処分しようとしているのは、非飛散性アスベストで町内の安定型処分場で処理出来るものとなっている。平成18年の法改正によって非常に危険なアスベストがその中から除かれるのだろうと思う。協定書の4品目を変えることにはならないので、再度協定書を交わす必要はないと考えている。商号変更と役員の交代、資本金出資者の変更であり、法人が権利を譲渡したものではないと考えるので、第三者譲渡には当たらないと、このように考えている。

Q 子育て世代への軽減策を

A 法令上子どもの均等割りを廃止できない町長



真壁 「国保が高い」が町民の声だ。全国知事会等でも「加入者の所得が低い国保がほかの医療保険より保険料が高く、負担が限界になっており、国保の構造問題となっている」と指摘し、国への財政負担の強化を求めている。本町でも加入者の実態把握と負担軽減を求める。

町国保の実態を問う。
町長は知事会等の指摘についてどう考えているか。
国保税の均等割り、18歳未満の均等割りをなくすことを求める。

町長 平成30年度の国保加入者の額は8万5771円、世帯の平均所得は9万3810円、一人当たりの平均所得は5万8097円となっている。加入者のう

ち、独居世帯は818世帯、子どものいる世帯は57世帯、子どもの数は145人となっている。

国保の構造問題として、高齢者が多いこと、所得水準が低いことなどから、構造的要因により、保険料負担が重いことが挙げられている。私も参加した全国町村長大会でも「各自自治体の状況に応じた財政支援を講じる等、国保基盤の強化」を決議している。各団体と連携・協力しながら、国保基盤の強化を国に求めて行きたい。

18歳未満の被保険者は145人(平成30年度)で、均等割りの合計額は307万7750円となっている。法令に定められた均等割りを廃止することはできないと考えている。

議会活動日誌

10月		
日	曜日	会議・行事
4	木	広報委員会①・議会改革調査特別委員会・全員協議会
5	金	西部町村議長会連絡会(秦)
9	火	町村議会広報研修会(荊尾、長束)
12	金	広報委員会②
13	土	青年議会第1回合同学習会
22	月	広報委員会③・行政調査受入(東京都目黒区議会)
29	月	議会運営委員会・全員協議会・臨時議会
31	水	鳥取県町村議長会役員会(秦)

11月		
日	曜日	会議・行事
6	火	行政調査受入(岩手県矢巾町議会)
8	木	議会改革調査特別委員会
12	月	鳥取県町村議会議員研修会
15	木	全国過疎大会(秦)
16	金	米子道四車線化決起大会(秦)
18	日	青年議会第2回合同学習会
19	月	議会運営委員会・西部広域行政管理組合定例会(秦)
21	水	町村議長会全国大会(秦)
29	木	鳥取県後期高齢者医療広域連合議会(細田)

12月		
日	曜日	会議・行事
7	金	議会運営委員会・全員協議会・定例議会(本会議)
10	月	定例議会(一般質問)
11	火	定例議会(一般質問)
12	水	常任委員会
13	木	常任委員会
14	金	常任委員会
18	火	議会運営委員会・全員協議会
19	水	定例議会(本会議)
25	火	西部町村議長会連絡会議(秦)





二十歳の誓い

1月13日(日)、開園20周年を迎えるとっとり花回廊で平成30年度南部町成人式が行われ、125名の新成人が大人の仲間入りをされました。この若さとパワー、成人式当日の輝く笑顔をこれからの南部町に活かしていただきたいと思います。

看護師として、人として

頼田 珠世

私は、中学校卒業後、米子北高等学校看護科 看護師養成コースに進みました。思っていた以上に実習やレポート、試験など厳しく、心が折れそうになることもありましたが、そんな時はいつも同じ中学校から進学した仲間が支え、助けてくれました。現在専攻科2年生となり、2月の看護師国家試験に向けて、この5年間をこの20年間を無駄にしないためにも、家族や仲間、先生方に恩返しするためにも、何より自分の夢をかなえるためにも、いま勉強に励んでいるところです。

将来の夢は、いつもにこやかに患者さんに接することができ、後ろ姿に気軽に声をかけてもらえる看護師になることです。そのためにも確かな知識と技術をもって、冷静な判断ができるよう経験を積んでいきたいと思います。そして何より看護師である前に、まずは人として正しい生き方ができる大人であることを常に意識していきたいです。



今年の成人式は高校生サークルや新青年団が餅つきや餅まき、第2部の進行をするなどして会場を盛り上げました。



あどがき

新年明けましておめでとうございます。今年は亥年です。干支の一番最後の年です。猪突猛进と言われるように、回りも見ずにすごい勢いで走って、誰よりも早く神様の元へたどり着いたのは猪だったのです。しかし、神様のところで止まる事ができず、通り過ぎてしまいました。あわてて引き返した時には11匹の動物が到着していたということです。

議員の任期も折り返し点を過ぎ、残り1年10ヶ月となりました。広報常任委員会の構成員も替わりました。住民の皆様に読んで頂ける広報紙を目指して、目的地点(神様)にきちんと止まれるような猪を目指して頑張ります。

(荊尾)

広報常任委員会

委員長 荊尾 芳之
副委員長 景山 浩
委員 井田 章雄
板井 隆
白川 立真
長束 博信
滝山 克己
加藤 学